※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3011

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　新版　地理Ａ　世界に目を向け、地域を学ぶ（第一学習社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理Ａはグローバル化の進展、国際情勢や地球環境の変化などに伴う現代世界が抱える諸課題と、生活圏などの地域にみられる諸課題を地理的に考察する科目である。授業では、さまざまな地図や地形図、データ等を活用して、作業的かつ体験的に学習を進め、さまざまな諸課題を日常生活と関連付けて取り扱うことで、地理的な技能を身につける。筆記テストの成績、平常点（出欠状況・授業態度・学習への関心）を勘案して総合的に評価する。

２　学習の到達目標

現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意識的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、地域性を踏まえて多面的･多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、考察の過程や判断した結果を適切に表現する。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身につける。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	・自分で課題を見つけ、見通しを持って調べようとしているかを、生徒の活動の観察、調べた内容の分析などを通して評価する。 ・学習したことをもとにして、さらに新しい課題を見つけているかを、ノートやプリントの分析を通して評価する。	・考察した内容を、ノートやプリントの分析を通して評価する。 ・発問に対する生徒の反応や質問の仕方・内容を観察･吟味して評価する。 ・調べた過程や結果を分かりやすく表現しているかを、発表の仕方や発表資料から評価する。	・資料等を適切に収集・活用しているかを、発表資料や作成したレポートを通して評価する。 ・調べた過程や結果を分かりやすく表現しているかを、発表の仕方や発表資料から評価する。	・定期考査で、授業で理解した内容、身につけた知識を確認して評価する。 ・発問に対する回答や各自のノートから、基本的な事柄を理解しているかを分析して評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	地球儀や地図でとらえる現代世界	・地球儀と世界地図 ・国家の領域と領土問題 ・国家をこえた結びつき	○	 ○ ○	○	 ○ ○	a:球面である地球の地表面を平面で表現するために、さまざまな図法で地図が描かれたことに関心をもつことができているか。 b:　国家とは何かをおさえた上で、領土をめぐる対立やグローバル化の進展に伴って発生した諸課題について考えることができているか。 c:さまざまな図法で描かれた地図の特徴を理解し、用途に応じた図法を適切に選択して活用することができているか。 d:領土問題や貿易等による国家間の結びつきについての理解を深めているか。	確認テスト 定期考査 ワークシート 出欠状況 授業態度
	世界の人々の生活を取りまく地球的環境	・世界的視野から見た地形 ・さまざまな地形と生活 ・世界的視野から見た気候 ・世界の気候と生活 ・世界の民族・宗教と生活・文化 ・生活・文化を支える産業の地域性	 ○ ○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:世界各地の地理的環境と結びついた生活様式について、どのような特徴があるかについて興味をもつことができているか。 b:世界の自然環境を地形と気候の面から大きくとらえ、自然環境の差異が生まれる理由と、その差異が人間生活に与える影響について考察できているか。 c:教科書に掲載されている各地域の特徴的な図版・写真を適切に読み取り、その地域の地理的環境と結びつけることができているか。 d:世界に存在する多様な地理的環境について理解しているか。	確認テスト 定期考査 ワークシート 出欠状況 授業態度

※令和３年度以前入学生用

	世界の諸地域の生活・文化と環境	・東アジアの暮らしを学ぶ ・東南アジアの暮らしを学ぶ ・南アジアの暮らしを学ぶ ・北アフリカ・西アジア・中央アジアの暮らしを学ぶ ・中南アフリカの暮らしを学ぶ	○ ○ ○ ○ ○	◎ ◎ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a：世界各地の生活と文化を考察して、異文化理解を深めるとともに、他者を尊重し、世界の人々と交流を深めようとする態度を身につけているか。 b：世界各地での人々の生活は、その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることについて考察でき、その地域の産業や生活・文化などにも歴史や自然環境が反映されていることに、気づくことができているか。 c：教科書掲載の「ワーク」に取り組み、統計データを地図やグラフに表現することができているか。 d：各地域の自然環境や産業、生活・文化などから、その地域性について理解を深めているか。	確認テスト 定期考査 ワークシート 出欠状況 授業態度
後期		・ヨーロッパの暮らしを学ぶ ・ロシアと周辺諸国の暮らしを学ぶ ・北アメリカの暮らしを学ぶ ・中央・南アメリカの暮らしを学ぶ ・オセアニアの暮らしを学ぶ	○ ○ ○ ○ ○	◎ ○ ◎ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a：世界各地の生活と文化を考察して、異文化理解を深めるとともに、他者を尊重し、世界の人々と交流を深めようとする態度が身についているか。 b：世界各地での人々の生活は、その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることについて考察でき、その地域の産業や生活・文化などにも歴史や自然環境が反映されていることに、気づくことができているか。 c：教科書掲載の「ワーク」に取り組み、統計データを地図やグラフに表現することができているか。 d：各地域の自然環境や産業、生活・文化などから、その地域性について理解を深めているか。	確認テスト 定期考査 ワークシート 出欠状況 授業態度

※令和３年度以前入学生用

	私たちが直面する地球的課題	・地球的課題の地理的考察 ・地球的課題への取り組みと国際協力	 ○	○ ○	○ ○	○	a：地球的課題への取り組みについて関心をもつことができているか。 b：地球的課題について、地域性をふまえて考察でき、その問題の所在や解決に向けての方向性について、考えることができているか。 c：地球的課題やその解決に向けての取り組みについて、インターネットなどで資料を集めて調べることができているか。 d：地球的課題について、その現状を理解した上で、持続可能な社会について理解を深めているか。	確認テスト 定期考査 ワークシート 出欠状況 授業態度
	日常生活と結びついた地図	・地図をもって生活しよう ・身近な地図を読みこなそう ・地図表現について考えよう ・地形図を活用しよう	○ 	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○	a：身近にあるさまざまな地図を収集して、地図を読むことに関心をもつことができているか。 b：観光地図や地形図などのさまざまな地図を読み、地図と日常生活との関わりについて考えることができているか。 c：観光マップや所要時間マップなど、教科書に掲載されている地図を適切に参照することができているか。 d：新旧地形図の比較から地域の変化を読み取るなど、地形図の有効な利用について理解しているか。	確認テスト 定期考査 ワークシート 出欠状況 授業態度

※令和３年度以前入学生用

	自然環境と防災	・日本の自然と生活 ・自然災害に備えた暮らし	○	○	○	○	a:身近な地域で起こりやすいとされている災害に対し関心を持って学習し、地域の防災・減災に向け貢献しようと積極的に取り組もうとしているか。 b:日本の自然環境と人々の関わりから、歴史的背景を踏まえ近代の生活環境の変化について考察することができているか。 c:教科書に掲載されている写真や地図・図版を適切に参照し、自然災害が多発する日本列島に、豊かな文化が築かれた背景を考察することができているか。 d:自然災害に備えるためにハザードマップや緊急地震速報の有用性を認識するとともに、災害に強い地形や環境について理解しているか。	確認テスト 定期考査 ワークシート 出欠状況 授業態度
	生活圏の地理的な諸課題と地域調査	・地域調査の方法 ・水とともに暮らすまち「白山市」を考える	○	○	○	○ ○	a:「白山市」の事例を参考に積極的に地域調査をおこなおうとしているか。 b:地域調査の結果を、ＧＩＳを使った地図化やグラフ化するなどして、発表することができているか。 c:地域調査の一環として、的確に資料を集めたり、現地調査をおこなったりすることができているか。 d:「白山市」の事例などから、地域調査の方法を身につけているか。	ワークシート 出欠状況 授業態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b: 思考・判断・表現
c: :資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。